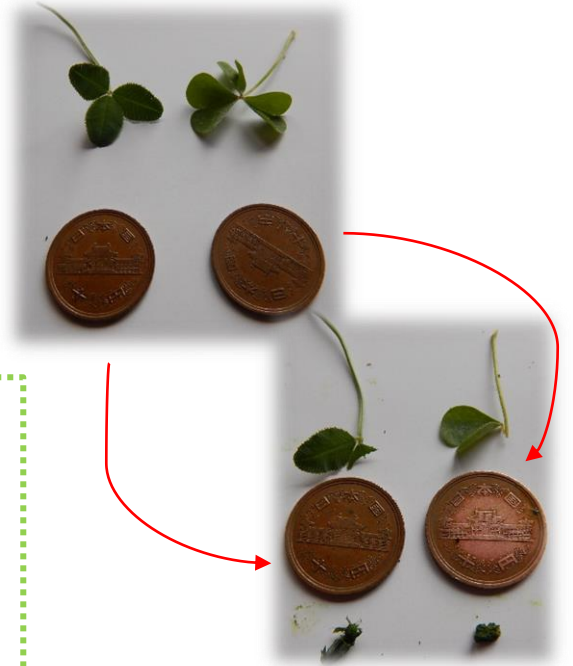




Nature News

撮影：8月27日 網張の森



シロツメグサ(クローバー)とカタバミの見分け方は?という声を聞きます。上の2枚の写真はどうでしょうか。

正解は、左がシロツメグサ(マメ科)・右がカタバミ(カタバミ科)です。見分け方は、葉の形が丸いのがクローバーで、ハート型はカタバミです。

昔、オランダから船でガラス製品を送ってくるときは、その製品が割れないように、箱のすき間にクローバーの乾かしたのを詰めてあったそうです。白い花が咲き詰め草に使われていたので、日本ではシロツメグサの名がつけられました。

カタバミは、葉の一方が欠けている意味です。だからハートの形をしています。 参考：野山で楽しむ春の草花 さ・え・ら・書房

それぞれの葉で10円玉を磨いてみました(真ん中)。カタバミで磨いた方は、シュウ酸を含んでいるので、錆がとれてピカピカになりました。因みに、イタドリでもピカピカになりました。身近な葉っぱで試してみてもいいかもしれません。



セグロシャチホコ(終齢幼虫)
(シャチホコガ科)

幼虫の主な食べ物：ヤマナラシ属、ヤナギ属の各種(ヤナギ科)

特徴：色とりどりの突起が配置される毛虫
タイプのシャチホコガ
幼虫越冬

参考：イモムシハンドブック 文一総合出版

ウワミズザクラ
(バラ科)



ミズキ
(ミズキ科)

ゴマナ(キク科)
葉がゴマの葉に似ることから名前がついた。

参考：新鞍掛の花 熊谷印刷

秋を感じる網張の森です。